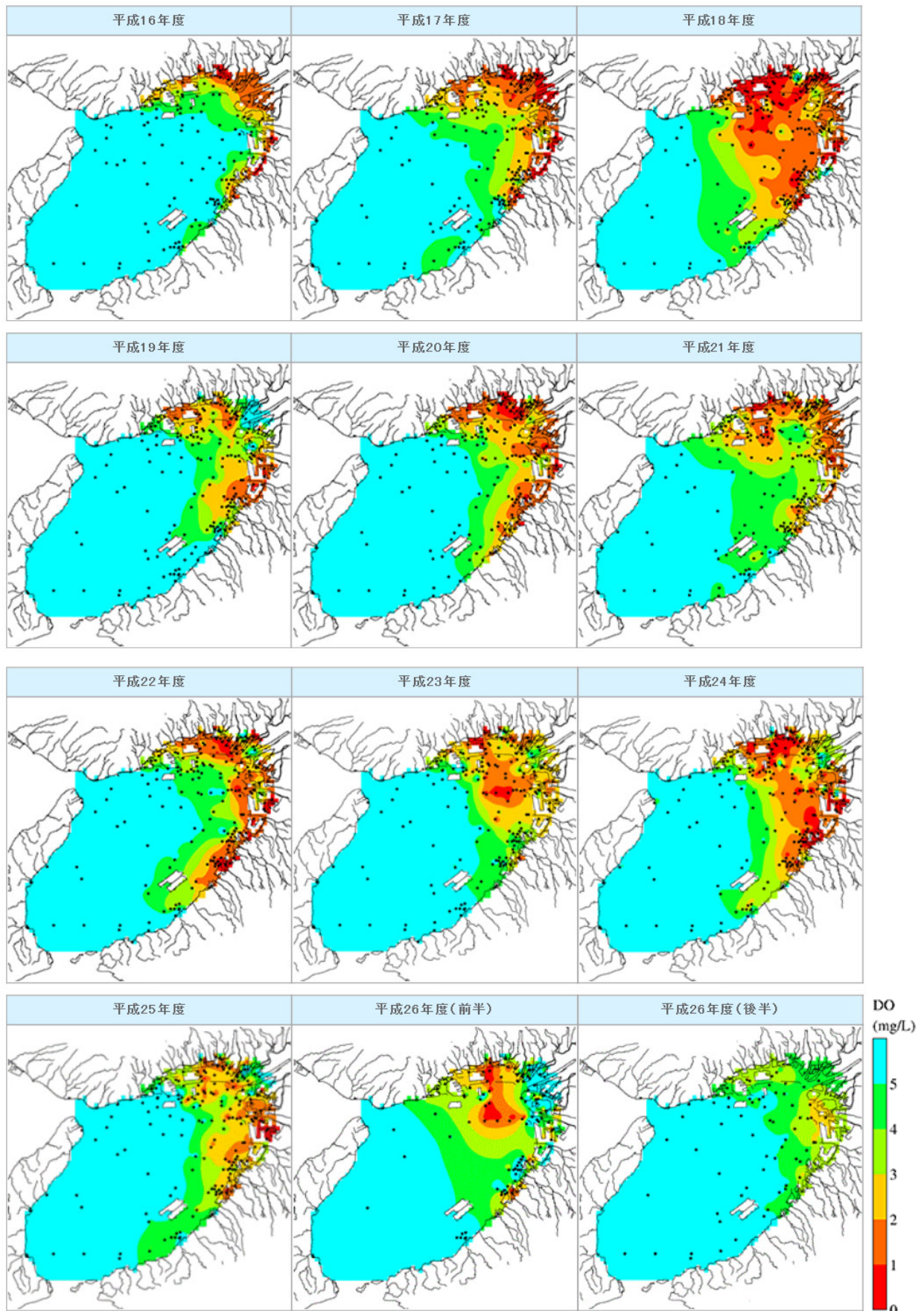


## DO（下層）の分布図・経年変化図

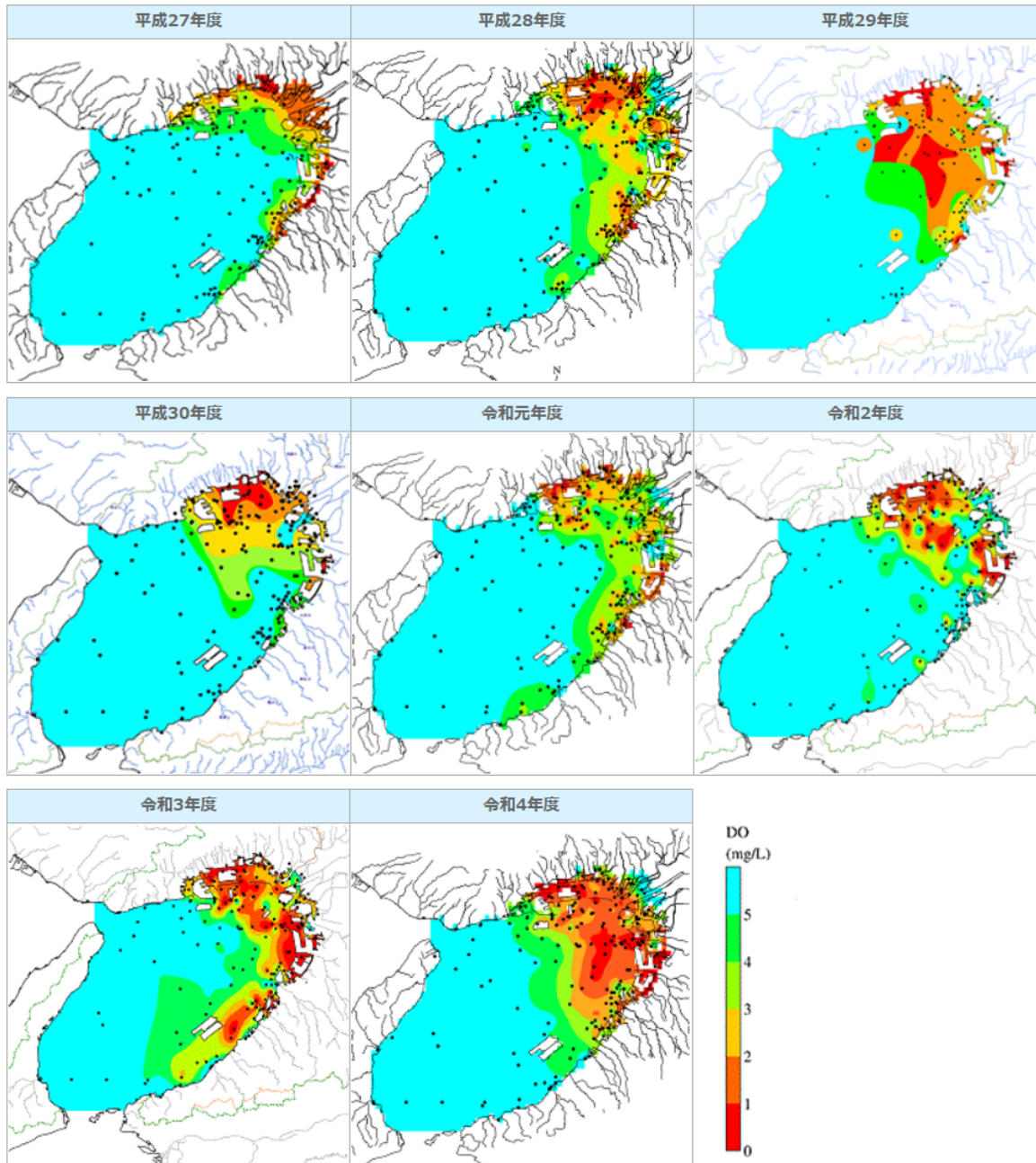
下層のDOは、淀川や大和川などの河川が流入する大阪湾の北東側の沿岸部で低く、西側で高い傾向がみられます。

本調査結果は、夏季1回の結果であり、調査実施時の気象・海象の状況による影響を受けています。調査日前に降水量が多く、大規模な出水がみられた平成18年度は、下層DOの低い面積が大きくなっています。一方、調査日前に強い風が吹いた平成16年度、19年度及び平成26年度後半は、下層DOの高い面積が大きくなっています。

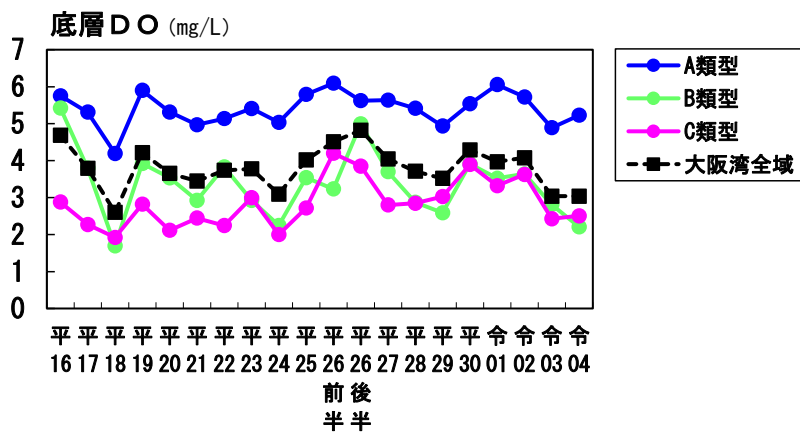
### II 水平分布図



|| 水平分布图



|| 経年変化图



類型区分图